

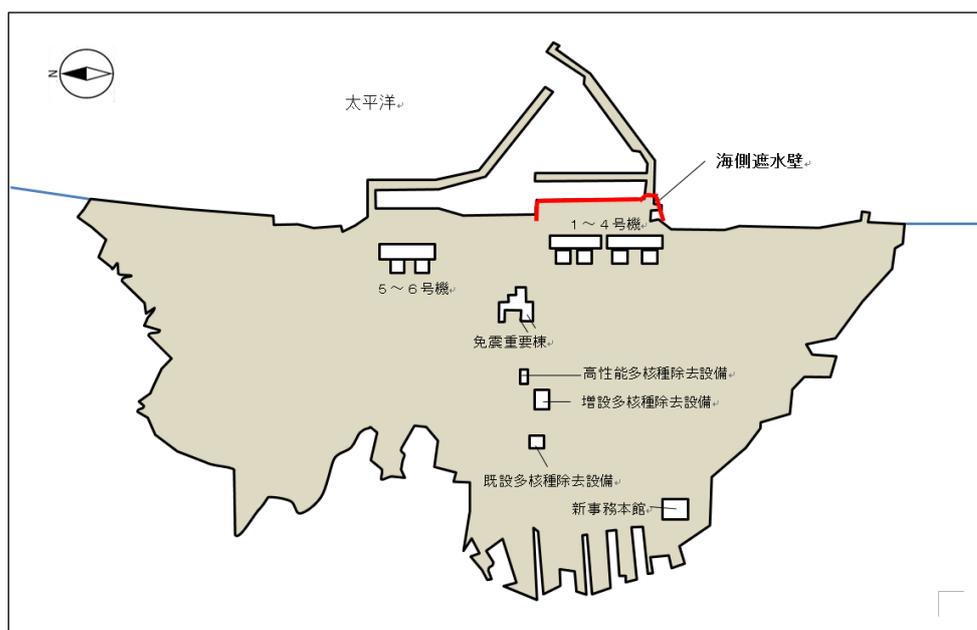
福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年3月2日（火）
- 2 確認箇所
2. 5m盤（海側遮水壁）
- 3 確認項目
地震後の海側遮水壁の状況
- 4 確認結果の概要

令和3年2月13日に福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生したことから、海側遮水壁への影響を確認した。（図1）

なお、同遮水壁は、放射性物質を含む地下水が海洋に流れ込むのを防ぐため1号機から4号機タービン建屋東側の海沿いに全長約780mにわたり鋼管矢板を海底の地中に打ち込み設置されたものであり、鋼管矢板には埋め立ての土圧等による変位を抑制するため杭頭部に結合鋼材が設置されている。

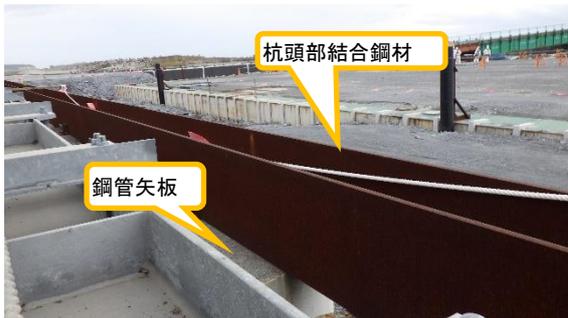
- ・目視確認を行った範囲で、鋼管矢板及びその周辺に今回の地震によるものと見られる新たな亀裂などの異常は確認されなかった。（写真1～2）
- ・東京電力によれば、地震後の目視点検では遮水壁本体に大きな変化は確認されておらず、また、地震前後の遮水壁の変位量もわずかであることから遮水壁の機能に影響を及ぼすものでないものと評価しているとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
海側遮水壁の鋼管矢板設置状況
(1号機タービン建屋東側付近)



(写真2)
杭頭部結合鋼材の設置状況

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。